

今後の本授業の予定: テーマは情報の発信

- 1/12(今回・見做し月曜日):
HTML による web page 作成 (2)
- 1/17(月): プレゼンテーション大会 (1)
- 1/24(月): プレゼンテーション大会 (2)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って**全員**に

プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容：何かを**勧める**
- 持ち時間：1 分 ~ 1 分半 (**時間厳守**)
- 資料枚数：表紙 + 3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出：
1/14(金)まで
にメール添付で提出 (詳細は後で説明)

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- 1/14(金)までにメール添付で提出
- スライドショー形式 (.ppsx) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (A10xxyyy.ppsx)
- メールのはじめの件名は presen
- メール本文に学生番号・氏名・題目を記載
(1行ずつ改行して行頭から)

ID:A10xxyyy

Name:何野某

Title:何とかのお勧め

これを怠っている者は、

この部分だけ再提出のこと

前回・今回は

ウェブサイト作成

**HTML 文書を作る
(HyperText Markup Language)**

実習 (前回)

本授業のウェブサイト

`http://pweb.cc.sophia.ac.jp`
`/tsunogai/kougi/10/jolite.html`

に用意したサンプル **HTML** ファイル

`sample.html`

をダウンロード

- **Firefox:** [右クリック] → [Save Link As ...]
- **IE:** [右クリック] → [対象をファイルに保存]
→ 0: ドライブの授業用フォルダに保存
(ファイル名を `index.html` に**変更**のこと)

実習用ウェブサーバ

授業実習では、

学内のみに公開されたウェブサーバ

`lctweb.cc.sophia.ac.jp`

を使う

各人の **URL** は

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

以下になる

(一般に大文字小文字を区別するので注意)

学内のみに公開されたウェブサーバで

授業実習を行なうのは何故か？

- 限定された (守られた) 環境で
技術・マナー・倫理を身に着ける
 - ★ うかつに個人情報を記載しない
 - ★ 不確実な情報を記載しない
 - ★ 誹謗・中傷・犯罪行為を行なわない
- 練習中のページを世界中に撒き散らさない
 - ★ インターネットは巨大なデータベース
 - ★ 情報検索の精度を劣化させない

壁には二種類の用途がある

実習 1 (前回)

以下の 2 箇所を自分の ID・名前に直してから、
ウェブブラウザで表示を確認してみよう

```
<base href=" ~ /~A10xxyyy/index.html">
```

```
<h1>何野某の授業実習用ウェブページ</h1>
```

→ ファイルアイコンをクリック
(拡張子による関連付けにより
ウェブブラウザが起動)

実習 1 (前回): 授業実習用ウェブサーバに
ファイルをアップロード

とりあえず授業実習用サーバに
掲載 (アップロード) してみよう

授業実習用ホームページ (lctweb) サービス

学内のサーバに接続・ファイル転送

→ **FFFTP** を用いる

(FTP = File Transfer Protocol)

ブラウザによる HTML 文書の表示

今掲載した index.html では、
文字の大きさなどは特に指定していないが、
見出しの文字は大きめに表示されている

- 元々のテキストデータが**内容**としてある
- HTML では専ら**論理指定**を行なう
- ブラウザが解釈して適切に**表示**する

ブラウザによる HTML 文書の表示

ブラウザが解釈して適切に表示するということは
どういうことが起こるか

使っているウェブブラウザや環境によって
見え方が異なる

→ 過度に見た目に拘らないこと

参考: テキストベースブラウザ (w3m など)

HTML 文法の基礎の基礎

- テキストを **mark up** して論理指定する
→ 内容と論理指定とが共に
 プレーンテキストで交ぜ書きされる
- **mark up** は HTML の**タグ**によって行なう
 - ★ タグは `< >` で囲まれる
 - ★ `<xxx>` から `</xxx>` までが指定 `xxx` の範囲
(対応する `</xxx>` がないものもある)
 - ★ 様々な属性を持つタグがある
(`<xxx yyy="zzz">` の形で指定)

HTML 文法の基礎：構成

- `<html>` ~ `</html>`:
この間が **HTML** で書かれていることを示す
- `<head>` ~ `</head>`: ヘッダ部分
文書に関する情報を記述する
- `<body>` ~ `</body>`: 本体部分
文書の内容を記述する

HTML 文法の基礎：段落・見出し

- `<h >` ~ `</h >`: 見出し (headings)
 - ★ レベル = 1 ~ 6 まで
 - ★ 上のレベルから順に用いるのが原則
 - ★ 通常、然るべき大きさ・配置で表示

- `<p>` ~ `</p>`: 段落 (paragraph)
 - ★ 地の文は普通この中に書くことになる
 - ★ 通常、段落内は画面端で折返し表示
 - ★ 通常、段落毎に改行、少々空けて表示

HTML 文法の基礎：箇条書

- `` ~ ``
: 番号付き箇条書 (ordered list)
 - `` ~ ``
: 番号なし箇条書 (unordered list)
- ★ 各項目は `` ~ `` で囲む
- ★ 入れ子にも出来る
(項目内に更に
`` ~ `` ・ `` ~ ``
が書ける)

HTML 文法の基礎：ハイパーリンク

- `<a>` ~ `` アンカ (anchor・碇)
 - ★ リンク先は `href` 属性で指定
(Hypertext REFerence)
従って次の形になる
``
 - ★ **URL** の指定には絶対指定・相対指定がある
 - * 絶対指定：現在地と無関係に指定
→ `http://` などから始まる
 - * 相対指定：現在地からの位置関係で指定
→ `./` や `../` などから始まる

実習 2 (前回)

ハイパーリンクの並んでいる段落を箇条書に変えて、

各リンクをそれぞれ一つの項目としよう

また、各リンクの飛び先が正しいか確かめよう

実習 2 (解答)

- `<p>` を `` (または ``) に変更
- `</p>` を `` (または ``) に変更
- 各項目を `` `` で挟む

文字コードの話

ヘッダ部分の

```
<meta http-equiv="Content-Type"  
      content="text/html; charset=Shift_JIS">
```

では本文書の文字コードを示している

計算機内部・相互の処理・通信・記録では、
文字は文字番号 (文字コード) で扱っている

文字コード表 = 番号と文字との対応表

文字コードの話

アルファベット・数字などの標準的文字コード
… **ASCII** コード

(**American Standard Code
for Information Interchange**)

文字	コード	二進表現
'0'	48	00110000
'A'	65	01000001
'B'	66	01000010
'a'	97	01100001
⋮	⋮	⋮

1 文字を 8 bit (1 byte) で表す

文字コードの話

8 bit (1 byte) で表せるのは $2^8 = 256$ 文字まで

→ 日本語 (漢字) などでは足りなさ過ぎる

通常 1 文字を 2 byte (以上) で表す
(多バイト文字・multi-byte character)

2 byte (16 bit) あれば
 $2^{16} = 65536$ 文字まで表せる

文字コードの話

歴史的事情により、

日本語文字を扱うための文字コードは
複数併存している
(JIS・ShiftJIS・EUC・Unicode など)

文字コード表 = 番号と文字との対応表

書いた時と異なる文字コードで読むと

正しく読めない

いわゆる “文字化け”

文字コードの話

- いわゆる“半角カタカナ”
歴史的に或る程度用いられているが、
標準とされていない
(使わないとされている番号を使っている)
→ 相互に了解がなければ**使ってはいけない**
- いわゆる“独自定義文字・機種依存文字”
既存(標準)の文字コード表の“空き”を
メーカーが独自に(勝手に)使っている
(丸数字・(株)・kg・ト など)
→ 一般の他機種では**読めない**可能性あり

実習 3

ウェブページ (HTML 文書) をもう一つ

ファイル名 `second.html` で作って、
(コピーして修正すれば良い)

- フォルダで `index.html` を
[コピー] → [貼り付け]
→ ファイル名を変更
- **EmEditor** 内で編集集中の `index.html` を
[ファイル] → [名前を付けて保存]

拡張子は `.html` のまま

実習 3

index.html から second.html に向けた
リンクを張ろう (相対指定が適当)

```
<a href="./second.html">2 頁目へのリンク</a>
```

また、second.html では、

- base タグ内のファイル名を変更
- 見出しの修正・不要な部分の削除 (適当に)
- index.html に戻るためのリンクを作る

```
<a href="./index.html">玄関ページへ</a>
```

それが出来たらサーバにアップロードして
リンクが辿れるか確認しよう

FFFTP の使い方

- **起動:** [スタート] → [プログラム]
→ [Tools] → [ファイル転送]

- **終了:** [接続 (F)] → [終了 (X)]
([Alt + f] → [Alt+x])
または [ウィンドウ右上の×]

FFFTP の使い方

- **接続:** [接続 (F)] → [接続 (C)]
→ [ホスト一覧] でどれかを選ぶ
→ [接続 (S)]
→ ユーザ名 (学生番号) を入力 → [OK]
→ パスワードを入力 → [OK]
→ 接続完了
 - ★ 左側: ローカル (こっち側)
 - ★ 右側: リモート (向こう側)
- **切断:** [接続 (F)] → [切断 (R)]

接続を切断してから終了すること

(学内) 公開用ディレクトリの作成

(ディレクトリ: フォルダに相当)

準備として最初の 1 回だけ行なう

- [コマンド (C)] → [フォルダ作成 (K)]
→ [フォルダ作成 (ホスト)] でフォルダ名入力
`public_html` (半角英小文字 + 記号)
(大文字小文字は区別される)
- 属性確認 (変更)
今作った `public_html` をクリックで選択
→ [コマンド (C)] → [属性変更 (A)]
[現在の属性] が **755** なら OK

ファイルのアップロード

ローカル (こっち側) → リモート (向こう側)

- リモート側 (右側) のディレクトリ指定:
public_html に ([ダブルクリック] で移動)
- ローカル側 (左側) のフォルダ指定:
0:¥ → 授業用フォルダ
- ローカル側 (左側) の index.html を選択
→ [アップロード] (上向き青矢印)
または マウスでドラッグ

アップロードしたファイルを見してみる

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

ファイル名を指定しないと `index.html` と仮定
(ウェブサーバの設定)

ソースを確認してみよう

- **IE:** [右クリック] → [ソースの表示]
- **Firefox:** [右クリック] → [**View Page Source**]
(または [Ctrl+u])

今見ているファイルが

手元のファイルかサーバ上のファイルか

意識して正しく区別・認識せよ

HTML 文法の基礎：表組み

- `<table>` ~ `</table>`：表組み

罫線が必要なときは

`<table border="1">` ~ `</table>`

等とする ("1"は罫線の太さの指定)

この中に

- * `<tr>` ~ `</tr>`：表の1行

この中に

- * `<td>` ~ `</td>`：表の1項目

- `<caption>` ~ `</caption>`：表の標題

HTML 文法の基礎: 表組み

本授業のウェブサイト

`http://pweb.cc.sophia.ac.jp`
`/tsunogai/kougi/10/jolite.html`

に用意した **HTML** ファイル

`kencho.html`

に表組みのサンプルあり

→ ソースを見てみよう

実習 4

以前 Excel で作った九九の表を

HTML の表にしてみよう

- 九九の表を Excel で開く → [Office ボタン]
→ [名前を付けて保存] → **[CSV 形式]**
→ ファイル名 kuku.csv
- kuku.csv をエディタで開く
→ HTML の表組みのタグを付ける
(検索置換を駆使して効率的に!!)
- さっき作ったリンク先の HTML ファイルに
コピー&ペースト
- 表示が確認できたらアップロード

本日の実習課題の確認は、

みなさんの URL

`http://lctweb.cc.sophia.ac.jp/~A10xxyyy/`

でのアクセスを確認することで行なうので、

メール等で提出する必要はない

本授業も

こちらから講義する内容はほぼ終了しました

残るは、

- 1/17(月): プレゼンテーション大会 (1)
(000 ~ 499)
- 1/24(月): プレゼンテーション大会 (2)
(1 回目の残り・500 ~ 999)

プレゼンテーション大会

2 回に亙って**全員**に

プレゼンテーションソフトを用いた発表
をしてもらいます

- 内容：何かを**勧める**
- 持ち時間：1 分 ~ 1 分半 (**時間厳守**)
- 資料枚数：表紙 + 3 枚程度か
- プレゼンテーション資料の事前提出：
1/14(金)まで
にメール添付で提出 (詳細は後で説明)

プレゼンテーション大会

プレゼンテーション資料の事前提出要領:

- 1/14(金)までにメール添付で提出
- スライドショー形式 (.ppsx) で提出
- 添付ファイル名は学生番号 (A10xxyyy.ppsx)
- メールのはじめの件名は presen
- メール本文に学生番号・氏名・題目を記載
(1行ずつ改行して行頭から)

ID:A10xxyyy

Name:何野某

Title:何とかのお勧め

これを怠っている者は、

この部分だけ再提出のこと

プレゼンテーション大会

評価対象は発表全体 (資料 + 口演)

- 資料は見易く解り易いか
- 口演は聴き易く解り易いか
- 資料で表示するものと口頭で述べることの
切り分けは適切か
- 「勧める」という目的を達しているか
- 時間厳守 (1 分 ~ 1 分半)

楽しみにしています